

ドローン操縦士協会とアライアンスパートナー契約を締結

一般社団法人ドローン操縦士協会（東京都渋谷区、理事長：小林一郎）と株式会社フォーカスシステムズ（東京都品川区、代表取締役社長：森啓一）は、ドローンの産業利用促進を目的としたアライアンスパートナー契約を5月21日に締結しました。

最新の市場調査では、日本における2021年度の国内ドローン市場は1,676億円とされています。（株式会社MM総研発表「ドローン国内市場規模調査」2017年1月発表）。しかし残念ながら、現在はドローン産業利用への期待の高まりと、実用化の進展が比例しておりません。その背景として、物理的な安全性や情報セキュリティに対する課題などが挙げられます。

今回の提携により、フォーカスシステムズの公共システムでの開発実績や、情報セキュリティ、IoT分野での強みとするコア技術を発展させ、通信手段の安全性の確保や、ドローンによって収集されたデータのプライバシー保護、災害時に機動的にドローンを活用するための高度な画像処理技術の構築など、ドローンの実用化に向けた諸問題を、共同研究を通して解決してまいります。



【一般社団法人ドローン操縦士協会について】

一般社団法人ドローン操縦士協会（略称：DPA＝ディーパ）は、ドローンに関連する諸問題を解決すべく、ドローン操縦技術に関して認定ライセンス制度を構築し、ドローン操縦士の技能認定を行うことにより、ドローンの先なる時代の航空安全と、ドローン産業の発展を促進しています。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社フォーカスシステムズ
管理本部 総務部 IR・広報担当
メール：koho@focus-s.com
TEL :03-5421-7790